

| 工 種 |                               | 撮 影 基 準  | 撮 影 箇 所  |
|-----|-------------------------------|--|--|
| 12  | 1. 法面保護工                      | 客土吹付、植生基材吹付は、施工面積おおむね 200～400 m <sup>2</sup> につき1箇所、その他は 1,000 m <sup>2</sup> につき1箇所の割合で撮影する。<br>上記未満は2箇所撮影する。 | 法面状況、法面清掃、厚さ、金網、植生ネット張、むしろ張、アンカー打込み等必要箇所を撮影する。               |
| 13  | 1. 吸水渠                        | 1 耕区当たり 1～2 箇所の割合で撮影する。  | 埋設深、埋設間隔、その他必要箇所を撮影する。                                       |
|     | 2. 集水渠<br>(支線)<br>導水渠<br>(幹線) | 施工延長おおむね 50～100mにつき1箇所の割合で撮影する。  | 埋設深、その他必要箇所を撮影する。  |
| 14  | 1. 監査廊                        | 1 スパンにつき 1 箇所の割合で撮影する。   | 幅、厚さ、高さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。                                 |
|     | 2. 堤体盛土                       | 盛立高さおおむね 3～5 mにつき 1 箇所の割合で各ゾーン毎に撮影する。<br>ストックパイルは造成の都度 1 箇所撮影する。   | ゾーン幅、まき出し厚さ、転圧、レーキング、コンタクトクレー、リップラップ工、ストックパイル工、その他必要箇所を撮影する。 |
|     | 3. 洪水吐                        | 2 スパンにつき 1 箇所の割合で撮影する。   | 幅、厚さ、高さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。                                 |
|     | 4. 埋設計器                       | 各計器毎に撮影する。   | 埋設状況、埋設時のゲージの状態等について撮影する。                                    |
|     | 5. グラウトボーリング                  | ボーリングの削孔長を全数撮影する。  | 削孔長は全数、その他必要箇所を撮影する。   |

| 撮 影 方 法                                | 管 理 方 法 |
|--|---------|
|  |         |
|  |         |
|  |         |
| <p>撮影時期、撮影内容及び撮影方法については別途特別仕様書による。</p> |         |
|  |         |